

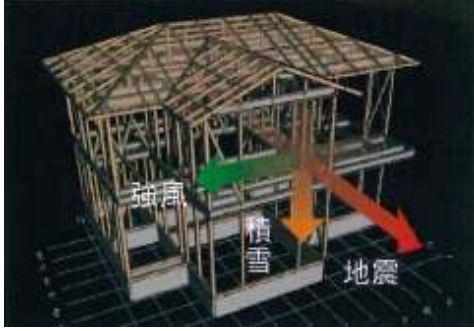
テクノストラクチャー工法

地震に強い。品質 断熱に
対する4つのこだわり

構造計算 「もしも」の災害をシミュレーション

住宅は建った後で耐震診断をしても手遅れです。テクノストラクチャーでは、一棟一棟の構造計算(災害シミュレーション)を設計段階で行い、全388項目に及ぶ厳しい強度チェックを、すべてクリアした住宅だけが建設されるシステムを採用しています。

設計 緻密な構造計算(災害シミュレーション)を実施



大地震・台風・豪雪に耐えられる家かどうかを事前シミュレーションします。補強が必要ならば改善を重ね、すべての項目がOKになるまで「何度でも」チェックを行います。

実大振動実験



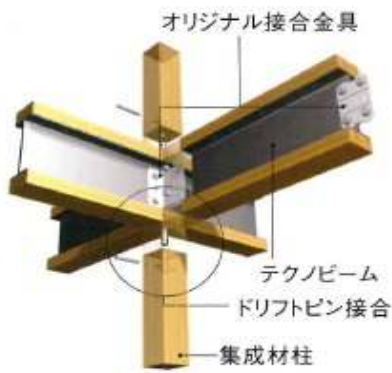
テクノストラクチャーの構造仕様は、阪神大震災クラス(震度7)の揺れを5回に渡って加える実験もクリア。激震に耐える高い構造強度が立証されています。

部材品質 「強い家を支える」強固な構造部材

テクノストラクチャーの住宅は、構造部材の強度、品質にもこだわっています。一棟一棟の住宅品質に差が生じないように、金具ひとつにまで細かな仕様を規定し、構造計算どおりの強度を確保します。

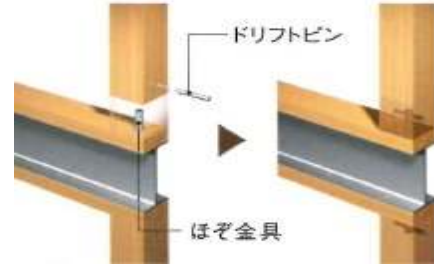
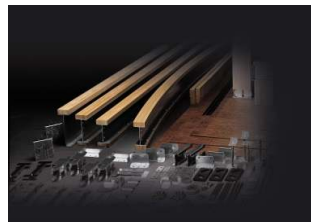
そのこだわりが、家全体として高い品質、安定した構造性能を実現しています。

梁 構造の要を鉄と集成材で強化



木と鉄の複合梁 "テクノビーム"

テクノストラクチャーでは、家を支える大切な梁に鉄と木の複合梁「テクノビーム」を採用。複合部も金具で強化し、ムクの柱の1.5倍の強度を持つ集成材柱でさらに耐震性を高めています。



柱と梁(土台)の複合部"ドリフトピン接合"

施工品質 「強い家」を実現する 確かな施工

テクノストラクチャーは施工品質を特に重要視しています。どんなに強度い家も、確かな施工が初めて実現するものだからです。

施工認定を受けたパナソニックビルダーズグループ

テクノストラクチャーの住宅を建設できるのは、所定の研修を修了した、地域の優良ハウズビルダーだけです。



施工管理者等による施工検査

断熱性能 地球と家計にやさしい 次世代省エネルギー基準対応

家全体を、次世代省エネルギー基準の高い断熱性能とすることにより、屋外の不快な湿度をシャットアウト。広いリビングやリビング階段のある家でも省エネルギーで快適な暮らしが実現します。



- アバンセ メーカーモジュールを採用しており35坪以上にオススメです。
- フォルカーサ 910モジュールを採用しており35坪未満にオススメです。

もっと詳しく知りたいかたはコチラ

テクノストラクチャー早わかり!
8つの疑問の答えを読めば、もうあなたはテクノストラクチャー通!

